

万全のスト態勢を確立せよ

日刊
動労千葉

81.2.27
No. 671

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五・六・八(公衆)三三二七・二〇七

権力・当局・動労「本部」などのスト圧殺 策動を断固粉碎し、ストライキを貫徹しよう

全組合員の皆さん。
全国の闘う仲間皆さん。
いよいよわが動労千葉の三月決戦ストライキは、目前に迫った。
政府・国鉄当局は、2月25日、早々と国労、動労「本部」、鉄労、全動労などと三月ジェット燃料貨車輸送延長について合意、妥結し、あくまでも期限延長阻止・労農連帯スト貫徹の旗をかかげて闘い抜くわが動労千葉の三月スト圧殺のための弾圧を公然と開始している。
われわれは、万全のスト態勢を確立し、権力・国鉄当局・動労「本部」革マル分子一体となつたスト圧殺策動を断固粉碎し、完全にストライキを貫徹しよう。

意気軒高として闘い抜いた スト破り要員 助役機関士線見阻止 一週間闘争

スト破り要員 助役機関士線見阻止一週間闘争の中で権力・国鉄当局は、わが動労千葉の三月ストライキの重大性を正当にも見抜き、それを事前に封殺・圧殺せんとして、21日成田支部に見られる乗務中の機関士を暴力的に引きずり降ろすといふかかってない暴挙を行なつてきた。
しかし、われわれは、全支部総決起をもつて、こうした権力・国鉄当局の弾圧攻撃をはねのけ、三月決戦スト貫徹の決意をますます打ち固め、意気軒高として一週間闘争を闘い抜いたのである。

この一週間闘争は、成田・佐倉両支部における助役機関士線見実力阻止の闘いともあわせて、全支部・全職場における減産闘争が闘い抜かれ、乗務員においては、連日、総武緩行線における運休10〜16本、遅延一〇〇〜一、一〇〇分をはじめ全線区における二、四〇〇〜二、五〇〇分にもほなる運休・遅延を現出し、非乗務員においては幕張・津田沼・佐倉・木更津をはじめ全支部において、国鉄当局に大きな打撃を与える闘いが展開された。

そして、今や、この一週間闘争の勝利的貫徹の上に、いよいよ目前に迫つた三月決戦スト突入の熱気が成田・佐倉両支部をはじめ全支部にみなぎっている。

万全のスト態勢を早急に確立し、 スト圧殺攻撃を断固粉碎しよう

権力・国鉄当局は、わが動労千葉の三月ストライキで一本の列車も止めさせない「決意」をもつて助役機関士という公然たるスト破り要員を送り

込み、さらにこれに対するわが動労千葉の労働組合として当然の抵抗闘争である線見阻止の闘いに對し、連日、県警機動隊・私服・公安機動隊・局課員を総動員して弾圧し、それでもだめだと見るや、乗務中の機関士を引きずり降ろすという前代未聞の暴挙を行なつてきた。

さらに、成田支部における線見阻止闘争の中で、当局の現地対策本部長宮内某・現地対策員荒勢某がそれぞれ「重傷を負わされた」などとマスコミをつかつてウソとデマのキャンペーンをはり、わが動労千葉の闘いを圧殺せんとしてきた。

一方で、国労・動労中央は、国鉄からストライキを一掃するための大攻撃としての「二〇二億円損害訴訟」の延期と引きかえに、ジェット延長に屈服し、とりわけ、動労「本部」革マル分子と佐倉の土屋一派は、県警・公安の増強による警備・護衛の強化と引きかえに助役機関士線見・ジェット延長に卒先協力しているのである。

こうして、国鉄当局・権力は、超法規的弾圧をも含めたありとあらゆる手段を使ってわが動労千葉の三月ストライキ圧殺・封殺にやつきとなつて

いるのである。
われわれは、あのマル生当時の闘いに対する弾圧を上廻る警察権力の直接介入や動労千葉の指導系統の分断、さらに、ロッキアアウト、謀略的闘争破壊等々のあらゆる弾圧・介入をも予想し、それに打ちかつ万全のスト態勢を佐倉支部をはじめ全支部で早急に確立しなければならぬ。

そして、80年代に通用する自前の労働運動の底力をもつて、断固としてストライキを貫徹しようではないか。